

III 4歳児・5歳児の



発達について

*あくまでも 1 つの目安としてご覧下さい。(決して、これができないといけないということではありません。) 幼児の発達には個人差が大きく、環境によっても異なります。興味や刺激を与えていくためのヒントと考えましょう。

ますます自立が進む4歳児

4歳児とは、年中さんのことです。自発性・意欲・協調性・自己コントロール力・我慢する力・競争心・人に対する思いやり……など少しづつ“心が成長”していく大切な1年です。

III
の4
発達児
に・
つ5
い歳
て児

生活力

自分で食事をし、トイレにも行けるようになり、着脱・清潔の習慣が身についてきます。

- ・箸が使える。
- ・自分でパンツをおろして用をたす。
- ・自分の衣服の着脱や裏返しができる。
- ・鼻が出たら、自分でかんだ後にゴミ箱に捨てられる。
- ・顔を自分で洗う。
- ・夜のオムツがいらなくなる。
- ・ジャンパーなどのジッパーを自分でできる。
- ・こぼしたら自分で布巾や雑巾を使って拭ける。



運動

体のバランスがとれるようになります。
全身運動と並行して細かい運動ができるようになります。

- ・1時間以上の散歩ができる。
- ・ブランコに立ち乗りができる。
- ・つま先立ちで後ろに歩くことができる。
- ・平均台などの高さのある台を一人で歩くことができる。
- ・マットで前転ができる。
- ・片足ケンケンが左右どちらの足でもできる。
- ・20mぐらい全力で走ることができる。

操作

興味が広がり、想像をはたらかせて、作り出す楽しさを知ります。
目と手の協応性がしっかりとります。

- ・折り紙の角と角を合わせ、半分に折る。
- ・片手で紙を持って、簡単な形をハサミで切る。
- ・クレヨンで色を使い分けて絵を描く。
- ・ままごと遊びをして、家庭的な活動をする。
- ・絵の中に地面や家、部屋などが現れる。
- ・のりをつけて貼り付ける。
- ・モデルがあれば□や△をかく。
- ・積木でトンネルや線路をつくる。
- ・顔を書いて、続けて手・足・胴が出始める。

友だち関係

いろいろな友だちと交じり、やりとりをしたり、競争したりすることを楽しみます。

- ・気の合う友だちと、簡単なルールのある遊びができる。(鬼ごっこ・かくれんぼ・だるまさんが転んだなど)
- ・ままごとやお店屋さんなどのごっこ遊びを楽しむ。
- ・ブランコなど友だちと順番に、物を使うことができる。
- ・他の子どもに『○○しようか』と、さそいかけることができる。
- ・自分が使いたいものを、友だちが使っている場合に『かして』と言う。
- ・友達と競争して負けるとくやしがる。

社会性

簡単な指示に従うことができるようになります。大人の要求に応えることに、喜びや誇りを感じるようになります。

- ・『おもちゃを貸してあげなさい』という指示に従うことができる。
- ・これまでできなかったことも、『○○だけれどもする』という心の働きで乗り越えようとする。
- ・幼稚園や保育園の先生の簡単な指示にも従う。
- ・いたずらなど、注意されたらすぐにやめることができる。
- ・『やってはいけません』という指示に従うことができる。
- ・ほめられると、もっとほめられようとする。
- ・小さい子のお世話をする。
- ・身近な生活経験をごっこ遊びに取り入れて遊ぶ。

ことば

自分の経験したことを話したり、質問に答えられるようになります。

- ・『お腹がすいたらどうする?』などという質問に正しく答えられる。
- ・1から10まで数えようとする。
- ・力行・夕行の発音がはっきりと言える。
- ・比較(重い・軽い、左・右、(5個以上の数)多い・少ない、弱い・強い)が理解できる。
- ・自分の名前を読むことができる。
- ・ほかの子の遊びに加わりたい時に『いれて』と言える。
- ・遊んだり絵本を見ながら、子ども同士よく会話をする。
- ・「だって」を使い、はっきりと理由を持って自己主張をする。
- ・その日にあった出来事を接続詞を使って、話せるようになる。

III

の4
発歳
児達に
つ5
い歳
て児



心がさらに成長する5歳児

5歳児は年長さんのことです。友だちとの関わりの中から自分のプライドや競争心も発達し、頑張る・あきらめない・譲るなどの複雑な気持ちの変化も経験しながら、「協調性」や「応用力」、「適応力」を身につけていきます。

生活力

身の回りのほとんどのことが自分でできるようになります。

- ・食器を洗い場へ持っていくなど、食事の後かたづけを手伝う。
- ・寝る前に自分からトイレに行く。
- ・排泄の後、おしおりが上手に拭ける。
- ・自分で衣服を着脱でき、必要に応じて衣服を調整する。
- ・歯をみがき、口をすすぐ。
- ・入浴後に体を自分で拭く。
- ・布巾や雑巾をしぼる。
- ・ほうきやちりとりを使ってそうじができる。

運動

いろいろな運動の道具や遊具を使って工夫して遊べるようになり、長距離を歩く体力も育ちます。

- ・片足跳び（ケンパー跳び）、ジグザグ走りができる。
- ・ブランコに立ちのりして、1人でこげる。
- ・鉄棒での前回りができる。
- ・スキップができる。
- ・模倣体操ができる。
- ・1人でなわとびをする。
- ・ボールを投げたり受け止めたりできる。

操作

目的にあわせて様々な活動や操作ができるようになります。

- ・△や◇が描ける。
- ・絵の具で混色を作り絵を描く。
- ・人間の全身が描ける。自分たちの体験や空想の世界を絵で表現できるようになる。
- ・セロテープ・ホッチキスなど道具を用いて、イメージしたものを作る。
- ・虫取り網で、蝶やバッタをつかまえる。
- ・よく飛ぶように、ひこうきの折り方やとばし方を工夫する。
- ・サイコロを用いてゲームができる。
- ・作る前に作ろうとする物を頭に描き「縦・横・奥行き」などを意識して作る。
- ・自分の作った物がより飛んだり、回るように工夫したりする。



友だち関係

友だちと協力して、複雑なルールのある遊びに取り組めます。

- ・友だちと互いに主張したり、妥協したりしながら遊ぶ。(自分を抑えることができる)
- ・どちらがよくできるか、友だちと競争する。(ブランコ、ひこうき飛ばしなど)
- ・友だちのよさを認め、上手にできる友だちを見て「自分もできるようになりたい」と挑戦する。
- ・友だちと協力して、自分たちのイメージに添った物を創る。(砂場・積木・廃材を使っての基地やお家づくりなど)
- ・仲間意識が高まり、勝つためにはどうすればいいのか、話し合いをし工夫をする。
- ・ジャンケンで順番を決める。
- ・警察ごっこなど組織だった遊びをして、数人の子どもと遊ぶ。
- ・友だちがやってもらいたいと思っていることを、察してやってあげることができる。(車が動かないときなどに押してあげるなど)

社会性

自分をコントロールしながら、苦手なことに挑戦するようになります。

- ・朝登園した時に先生より先に自ら挨拶ができる。
- ・責任をもって当番活動をしようとする。
- ・地域の建物(警察署・消防署など)や働く人たちに关心をもつ。
- ・社会的ルール(交通ルールや公共の場での約束事など)を守る。

ことば

ことばの表現力が増し、会話を楽しむとともに文字に対する関心が芽生えます。

- ・複雑な物語を聞くことができる。
- ・人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。
- ・時計を見て、時間に興味を持つようになる。生活の中で時間を意識する。
- ・昨日・今日・明日の連続的な時間の流れが分かってくる。
- ・童話や詩などのことばに興味を持ち、自らも話を作る。
- ・逆さまことば、しりとりやなぞなぞが少しできる。
- ・野菜、果物、乗り物、動物、昆虫の名称・分類などが解る。
- ・誕生日や四季などに関心をもつようになる。
- ・ひらがなを一部ひろい読みできるようになる。自分の名前を書こうとする。
- ・サ行や『き』がはっきりと言える。
- ・自分の住所・電話番号・家族のことが分かる。
- ・話し言葉に文脈をつけようとする。(ex.『あのね、えーとね』『それから、えーとね』など)

III

の4歳児達に・
つ5歳児

